

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		準決勝																
日時	2018年12月24日 (月)		9:00 ~															
会場	帯広総合体育館Aコート																	
結果	帯広翔陽 帯広	<table border="0"> <tr><td>11</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	11	—	18	12	—	11	13	—	17	11	—	15	OT			標茶 釧路
	11	—	18															
12	—	11																
13	—	17																
11	—	15																
OT																		
	47	61																
審判	主審 佐藤 陽子		副審 中寺 咲来															

第33回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

帯広翔陽		帯広						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	金尾 美青	×	18		7	4	9	3
5	野村 美桜	×	12		5	2	7	
6	山口 真穂	DNP	0					
7	橋本 彩永	×	10		5		9	1
8	太田 彩巴	/	0					1
9	市橋 令菜	×	7	1	2		2	
10	山崎 莉子	/	0					
11	青田 礼衣	DNP	0					
12	佐藤 咲桜	DNP	0					
13	渡辺 未来	DNP	0					
14	菊地 理恋	DNP	0					
15	本間 夏歩	DNP	0					
16	武田 心花	×	0				1	3
17	後藤 すず音	DNP	0					
18	天野 莉奈	DNP	0					
HC	川岸 仁							
合計			47	1	19	6	28	8

標茶		釧路						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	長瀬 弥羽	×	11		5	1	5	3
5	河合 菜那	×	12		5	2	8	2
6	矢野 萌々	×	6		3		4	1
7	藤田 紗衣	×	26	4	7		10	
8	小澤 彩	×	6		3		6	
9	牛崎 琴翔	DNP	0					
10	吉岡 風香	DNP	0					
11	河合 心那	DNP	0					
12	本間 朱里	DNP	0					
13								
14	0							
15								
16	0							
17								
18	0							
HC	荻原 愛							
合計			61	4	23	3	33	6

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

1Q翔陽④・⑤・⑦・⑨・⑩、標茶④・⑤・⑥・⑦・⑧、互いにハーフマンツーマンでスタート。翔陽④、標茶⑦が積極的に1ON1を仕掛け得点を取る。標茶のリードでゲームが展開される。翔陽⑤のターンシュートで同点に追いつくも、標茶④・⑤・⑦のスピードある1ON1で得点を重ね11-18標茶リード。

2Q翔陽④が出血のため代わりに⑩がコートへ、それ以外は同じメンバーでスタート。標茶⑦のドライブレイアップが外れるも⑧のリバウンドショットが決め、標茶の得点でゲームがスタート。互いに決め手がなく時間が進行するが、翔陽⑨のスティールからレイアップが決まり、止血した④がコートに戻り、1ON1で連続得点し流れに乗る。標茶⑦も3Pが決まる。残り4:31で標茶タイムアウト。タイムアウト後、翔陽④・⑦、標茶⑤・⑦のドライブで互いに得点を重ねる。残り11秒で翔陽タイムアウトも得点につながらず23-29標茶リードで終了。

3Q両チーム、スタートは変わらず。お互いにミスが多くシュートまで行かない場面が目立つ。翔陽⑦が連続ミドルシュートを決め、徐々に翔陽がペースをつかむ。翔陽⑤のミドル、④のドライブで1点差。それに対しすぐさま標茶⑦の1ON1、④のドライブからのバスケットカウント。フリースローも決め、6点差となる。残り1:36に翔陽⑨が3Pを決め3点差とし、標茶のシュートが外れ翔陽がリバウンドを取りブレイクを仕掛けようとしたパスがミスとなり標茶⑥のシュートにつながり5点差。そこから残り1分間標茶⑦の3P、⑤のドライブなどで10点差となり、36-46で終了。

4Qもメンバーは変わらず、3Qの勢いそのまま標茶⑤のリバウンドからのバスケットカウントなどで加点していく。残り6:02で翔陽タイムアウト。タイムアウト後、翔陽はディフェンスをオールコートに切り替え相手のミスを誘い、翔陽④のバスケットカウント、⑤ゴール下シュートなどで追い上げムードとなるも、標茶の⑦のドライブや3Pで加点し16点差まで広げる。翔陽も⑨のフローターシュート、⑤のゴール下シュートで食い下がるも、標茶⑤の1ON1や④の速攻が決まり47-61で標茶中学校が勝利。

この試合、標茶のオフェンスリバウンドやルーズボールの積極性が目立ち、⑤・⑦の1ON1での得点力、翔陽の大切なところでのミスが勝敗を分けた。